

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 045	提案機関名 一般社団法人神奈川県園芸協会
要望問題名 樹形に着目した樹種・品種の収集、検索及び育種	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 県農業技術センターではハナモモ「照手シリーズ」、サルスベリ「ディアシリーズ」、ヤポンノキ「八剣枝垂れ」と樹形が特徴的な新品種を育成してきており、県内植木生産の振興に大きく寄与してきた。植木生産において新樹種、品種は常に求められており、特に既存の樹種で樹形の異なるものは植栽特性（耐寒性、耐暑性等）が既知でありながら、利用上では大きく異なる特性であり普及が容易で有用である。引き続きほうき性、矮性、枝垂れ性の樹形に特徴のある新樹種、品種の収集、検索及び育種を要望する。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 特産品となる新たな品種の育成		
対応の内容等	ほうき性、矮性、枝垂れ性等、枝の横張りの少ない樹形は都市部の小面積での植栽に向き、これまで当所でも品種育成を行ってきました。 ほうき性ハナモモについては、照手シリーズの樹形を保ち、3月の節句前後に開花する品種の育成を目標に、上記試験研究課題の中で実施しています。ヤポンノキでは、既存の枝垂れ性雌木品種「ペンデュラ」と同樹形の雄木品種、当所育成の極枝垂れ性雄木品種「八剣枝垂れ」と同樹形の雌木品種の育成について、試験研究課題化を検討します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			